

虹の素 雨上がりには好きだといって Vol.11

「ヴィティの声」

桜木想香・猪熊竜久馬

それは、まだ何にも染まっていない
真っ白な美しい世界の始まり

CAST

- | | | |
|---|-------|--|
| ♀ | 指原小雪 | ……2年F組。アマチュア無線部3年の理央と付き合っている。 |
| ♀ | 幸田留美 | ……2年A組。アマチュア無線部。理央先輩のことが好き。 |
| ♀ | 白井真奈 | ……1年B組。アマチュア無線部。片耳が聞こえない。 |
| ♂ | カメリア | ……2年A組。アマチュア無線部は名ばかりの教合わせ。女子。
自称一人手芸部。本名、椿太郎。 |
| ♀ | 土屋美鈴 | ……2年E組。玲央の彼女。図書委員。 |
| ♂ | 結城玲央 | ……2年B組。美鈴の彼氏。図書委員。サッカー部のエース。 |
| ♀ | 竹石みずほ | ……2年A組。美術部。実のことが好き。 |
| ♂ | 水沼実 | ……2年A組。サッカー部。みずほのことが好き。真奈の幼なじみ。 |
| ♀ | 六花 | ……アマチュア無線部がキャッチしている謎の声。 |

神奈川県立横南高校。横浜市内の丘の上にある。

来年度より、県立浜北高校と合併し新設校になるため、最後の1年である。

「雨上がりには好きだといって」シリーズは、時代を2013年に設定していますが、実際の史実・時代状況とは違う箇所もあります。

「OPENING」

着信音。通信機の音。モールス信号。ノイズ。
行き交う電子の波。入り乱れる人の声。

目には見えない幾つもの電波が、この世界を飛び回っている。
その中で、必死にこちらに向かつて語りかけてくる声が聞こえる。
しかし、何を言っているのか数多の電波に遮られ聞こえない。
溢れでて押し寄せてくる電子の波。刹那、静寂。

六花

ハローハローハロー、聞こえますか聞こえますか。

暗転。

除夜の鐘の音。大晦日の夜。町の中の小さな神社の境内。
初詣客用に設けられたベンチに、美鈴は座っている。
玲央が甘酒の紙コップを2つ持ってくる。

玲央 はい。

美鈴 さんきゅ。

玲央 後輩がいた。

美鈴 サッカー部の？

玲央 うん。マネージャー。

美鈴 あの子？マリカから彼氏奪った？

玲央 そうそう。

美鈴 バイト？

玲央 そうそう。

美鈴 あ、うま。

玲央 あったけー。

美鈴

あ、あと30秒じゃん。

2人、30秒からカウントダウンをし、新年の挨拶を交わす。

美鈴

はーもう受験生かー。

玲央

年明け初っ端に言うなよ。

美鈴

文理選択決めた？

玲央

文。

美鈴

じゃークラス別々だね。

玲央

え、お前理系なの？

美鈴

そのつもり。

玲央

え、なんで。

美鈴

いやーなんとなく。

玲央

え絶対文系だと思ってた。

美鈴

いや私も思ってた。

玲央

なにそれ。

美鈴

不思議だよー。

玲央

いや全然わかんねえ。

美鈴

理系にする？

玲央

いやいやなんでだよ。

美鈴

そしたら同じクラスになれるかもよ？

玲央

いやしねーよ。

美鈴

ケチ。

玲央

いやなんでだよ。

美鈴

来年も来たいね。

玲央

来年も来ようよ。

美鈴

やー約束はできないよ。

玲央

なんで？

美鈴

だって来年どうなってるかわからないじゃん。

玲央

それは別れるかもってこと？

美鈴

そう言うわけじゃないけどさー、でも受験もどうなってるかわからな

玲央

いし。

美鈴

いやまあそうだけどさ。

玲央

伊澄先輩わかる？演劇部だった。

美鈴

いや知らん。

玲央

大阪の大学いくんだって。で彼はこっちの大学でさ、遠距離恋愛でき

美鈴

る自信がないって言って、別れるんだって。

玲央

えーなにそれ。やってみなきゃわかんないじゃん。

美鈴

でもわかるよ。不安になる気持ち。

玲央

そう？

美鈴

だって、今までほとんど毎日のように会えてたのが、ほとんどあえなく

玲央

なるんだよ？不安にならない？

美鈴

そりやなるかもしれないけど。

玲央

でしょ。きっとそうなるんだよ。遠距離じゃないとしてもお互い環境変

美鈴

わるしさ。続けてくのって大変だよ。

玲央

やめよーぜ。その時になってみないとわからないよ。まだ志望校も決め

美鈴

てないのに。

玲央

うん。

美鈴

まだ卒業まで1年以上あるんだからさ。

玲央

うん。

2人、賽銭箱へ向かう。
賽銭を投げ、鈴緒を揺らす。二礼二拍手一礼。澄んだ時間。

美鈴

何お願いしたの？

玲央

美鈴の願いが叶いますように。

美鈴

ははは！

玲央

なんだよ。

美鈴

叶うの早！

玲央

どういうこと。

美鈴

もう叶っちゃった。

玲央

何願ったの。

美鈴

玲央の願いが叶いますように。

2人、心まで暖かくなつて笑顔が溢れる。

六花

願いは、どこから生まれて、どこへいくのでしょうか。どこに根付いて、どんな形になるのでしょうか。

六花

ハローハローハロー。聞こえますか聞こえますか。こちらはジキユウ、ハルカカナタのスグチカク。果てしなく広く限りなく狭い、たった一つの自分だけの楽園。この場所からはまだ、ありとあらゆるものが見ええるし、なにもかもを聴くことができる。ありとあらゆるものについているのは、なにもかもつてことなんだ。ここでは願いが聞こえるし、願いが見える。そもそもこの場所そのものが、願い、といつてもいいのかもしれない。ハローハローハロー。聞こえますか聞こえますか。よかつたら私の願いにも、耳をすましてみてほしい。

「1」

アマチュア無線部の部室。ヘッドホンをし、六花の声を聞いている真奈。その傍らで、今にも取っ組み合いを始めそうな2人が騒いでいる。

小雪 お願い！

留美 断る！

小雪 お願い！

留美 断る！

カメラリアが入ってくる。

小雪 お願いお願い一生のお願い！

留美 断る断る全力で断る！

カメラリア 何々どうしたの。

小雪 いいじゃん！理央先輩の連絡先くらい教えてくれたって！ケチ！

留美 バカじゃねーの！自分がスマホ壊すのがいけないんだろ！ドジ！

小雪 壊したんじゃないかって壊れたの！バカ！

留美 どっちにしたって一緒だわ！アホ！

カメラリア 別にいいじゃない理央先輩の連絡先くらい教えてあげたって。

留美 絶対やだ絶対やだ絶対やだ！カメラリアも真奈も教えたら噛み殺す！

カメラリア 留美ちゃん、そんな意地悪しないの。いくら恋敵だからって。

小雪 えっ。

留美 言うな！

カメラリア あら失礼。

真奈 カメラリア先輩わざとでしょ。

留美 殺す！この椿太郎が！

カメラリア 本名で呼ぶなあああ！

小雪 理央先輩のこと好きだったの？

留美 だったじゃない！ナウ！

留美 放課後の部室。先輩とふたりきり。身を寄せ合って、無線機にかじりつく。どこかの知らない誰かとつながるために周波数を合わせていく、その横顔に見惚れる私。ああ理央先輩。あなたは どうして理央先輩なの。私のこの恋の電波、どうしたら受信してくれるの？……そんな気持ちがあんたみたいな小娘にわかってたまるか！

真奈 いや同年ですよ。

小雪 ポエミーすぎてわっかんね！てゅーかふたりきりってあんたは何してたのよ。

カメラリア まあ私はただの数合わせでいるだけだから。その辺は気を利かせてね。

留美

とにかく！あんたみたいな人の恋路を横からかすめとするようなこの淫

乱女が理央先輩と付き合うなんて認めないから！




逆恨みでしょ！なにそれ。意味わかんない。

まーとにかく。スマホは？修理に出したの？

データ全部消えた。

パソコンは？

持ってない。

Twitter  Instagram  DM だよ。

理央先輩 SNS やってなごもん。

バイト先は？

店長殴って辞めたから行けない。

バカ。

なるほど。で、肝心の本人は受験で登校してこないと。

てゆーか付き合ってるんでしょ？赤間先輩の家行ったことないの？

あるけど……いつともくっついて歩いてるだけだから道覚えてない。

連絡ってこども簡単にとれなくなるのね。

てゆーか年賀状もらってないんですか？

年賀状？え、来てない。

はい私もらったー！年賀状来たー！

まあ理央先輩来たら返すって言ってたし。

もうさ、そういうことなんだよ。理央先輩と繋がるな、っていう、お 6

告げ？運命？お導き？なわけ！連絡ついたところで3月で先輩卒業し

ちゃったらどーせ疎遠になるんだよ。

それはただのあんたの願望！人の未来を勝手に決めるな！

てゆーかそもそも！理央先輩は受験前なの！あんたの連絡にいちいち

構ってる暇なんてないの！どーせ受験終わったら登校してくるんだか

らそれまで待つてる！

したらあの、手紙とかどうですか？

手紙？

えっとだから、理央先輩の彼女さんが

あ、指原です。

指原先輩が手紙を書いて、それをこっちで送って、理央先輩が返事から

来たら、渡す。

なんでそんなまじろっこしいことを。

そりゃ、理央先輩だって、いきなり連絡つかなくなってる心配してたりす

るでしょうし。手紙くらい頻度なら、邪魔にならないかな？って。

いいんじゃない。

てがみい………？

自分の字で書いて想いを言葉にするのも、案外悪くないですよ。

留美ちゃんも。それくらいは許してあげたら？

……手紙に連絡先とか書くのは禁止だからね。

留美

カメリア

真奈

小雪

カメリア

真奈

留美

真奈

小雪

真奈

2人

真奈

留美

小雪

留美

カメリア

留美

小雪

真奈

カメリア

小雪

留美

カメリア

留美

小雪

カメリア

小雪

カメリア

小雪

カメリア

小雪

カメリア

小雪

小雪

……年明け早々、ツイてないなあ……。

小雪、ため息まじりにひとりごつ。

六花

昔、想いは届くものでした。

人は、もっと伝えたいもつと通じたいと、
電波を見つけました。

電波は、気持ちは伝えてくれるけれど、
想いは届けてくれませんでした。

そうして人は、いつのまにか、
想いの届け方を忘れてしまいました。

人は、電波を見つけて、
いつでもつながれる便利さとひきかえに、
つながれない寂しさを発明してしまいました。

真奈の部屋。真奈が少女漫画を読んでいると、カーテン越しに隣の家の部屋に
明かりが点くのが見える。真奈、窓を開け合図を送る。
向こうの窓が開き、実が顔を出す。

2人は窓に備え付けられた紙コップを手話し始める。

真奈

おかえり。

実

たがいま。

真奈

遅かったね。

実

飯食ってきたから。

真奈

そっちいいー？

実

いいよー。

真奈、紙コップを置き、窓を閉めようとする。

実

あ待って真奈！

真奈、静かに！のジェスチャー。紙コップを耳にあて、

実

「天使だったみたい」の続き持ってきて。

真奈

何巻まで読んだの？

実

ユカちゃんがケンちゃん振るところ。

真奈

(OKのサイン)

真奈、窓を閉めて部屋を出る。実、誰かとLINEしている。ノック。

実

はいよー。

真奈が入ってくる。

真奈

おっー。

実

あ、さんきゅ。

真奈

怪我しても部活出るんだね。

実

まあもう治りかけだし、強くボール蹴れないだけだからフィジカルで

真奈

きるし。

実

実すぐ当たり負けしちゃうもんね。

真奈

本当はもっと(身長)伸びるはずだったんだけどなあ、予定が狂った。

実

そればかりはどうにもならないもんねえ。

真奈

4月になったらまたメンツ増えるしさー下手したらベンチ入りすら怪

実

しいもんなー。

真奈

私も無線部どうなるかなー。

実

なくなったらマネージャーやろうよ。

真奈

そういうこと言わないでよ無線やりたくて横南行ったんだから。

実

あーあ。やっぱり俺なんか誘ってもダメなんだなあ。

真奈

誰に誘われても変わらないから。てかそれ私じゃなくて竹石先輩のこ

とでしよう。

実

……。

真奈

黙るー。

実

(LINEをみてニヤニヤしている)

真奈

あーはいLINEしてんのね。

実

ねえやばいこれ見て。

真奈

やーだ絶対見ない！

実

なんでさ。

真奈

人に見せるもんじゃやないでしょ！竹石先輩が同じように他の人に見せ

てたらどう思うのさ。

実

やだ。めっちゃ恥ずかしい。

真奈

でしょ。

実

あー……。

真奈

もーそんな風がいい感じなんだから付き合いなよ！

実

そうなんだけどさあ……。

真奈

そうやってうじうじまごまごしてる間に他の人と付き合っちゃったら

実

どうすんの？

真奈

やだー！むりー！

実

留美先輩と同じになるよ。

真奈

ううううううう。

実

いや、わかってるけど。

真奈

なに。

実 好きって言ったら今のこの関係が無くなっちゃうかもしれないじゃん。もったいい関係になるかもしれないじゃん。

真奈 でも付き合ったらさ！別れるかもしれないじゃん！

真奈 そんな先のこと考えるな！

実 だってさあ、「天みた」もさ、結局ユカちゃんはケンちゃんと別れてア

キオの方に行くわけでしょう。背高い方がいいってことでしょ。

真奈 いやそれはたまたまだから。

実 ていうかさあケンちゃんいい男すぎるでしょー！なんで振られてすぐ

にユカちゃんとアキオのこと応援できるんだよ。

真奈 そりゃ、好きな人にはどんな形でも笑ってほしいって思うからじ

やない？

実 ……は？

真奈 なに？

実 いやいや意味わからないって。

真奈 なにが？

実 だってそれってだからつまり、竹石が他の人と付き合ったとしてもで

も幸せならOKです！ってことだろ？

真奈 うーんまあ、まあ。

実 いーやーだああああ！そんなの無理！無理だつてばよおおおおお！

実の声が夜空にこだまする。

六花

なぜ人は、人を好きになるのだろう。こんなに人を好きにならなければ、こんなに哀しむこともないのに。それなら最初から恋なんてしなればよかったって思うかい？こんなに哀しい想いをするくらいなら、喜びや幸せもはじめからなければよかったって思うかい？でもね、このこの地球にある全てのモノには、そうなるための理由があるんだ。

小雪と留美の姿が浮かび上がる。留美は立花の声を聞いている。

六花

君のお父さんは昔、お父さんのお父さんとお母さんの間に生まれて、お母さんもまた、お母さんのお父さんとお母さんの間に生まれたんだ。そしてある日突然、誰にも教わらないのに「人を好きになること」を覚えて、2人は出逢い、恋に落ちて、結ばれて。そうして君は生まれてきた。そして君も、出逢いと別れをくり返し、誰にも教わらないのに「人を好きになること」を覚えて、恋に落ち、時に哀しみ傷つき、それでも君は、手をつなぐ温もりを感じていくんだ。

図書室。美鈴と玲央がツイキヤスをしている。

2人

モイ！

美鈴

皆さんこんにちわ！こちらは横南高校図書委員会、新年最初のツイキヤスは火曜日当番土屋美鈴と

玲央

結城玲央がお送りします。

美鈴

さあ、ということで、この横南図書キヤスは、その日の当番が読んだ本の感想をただただ喋るといキヤスです。

玲央

聴いてる人今一人しかいねーけどな。

美鈴

いいのこれはアーカイブで聴く人用だから。過去に紹介してきた本は全部アーカイブ残してありますので気になる本があったらぜひ聴いてみてください。

玲央

ちなみに「モイ！」はフィンランド語で「やあ！」という意味らしいですよ。

美鈴

はい、と言うわけで、レオ年末年始何読んだの。

玲央

はい！読んでません！

美鈴

へー面白いタイトル。作者誰？

玲央

いや読んでません。

美鈴

え？作者も「ヨンデマセン」？

玲央

いやそうじゃなくて、読んでないの。

美鈴

ん？読んでませんか？

玲央

ん？まあそうというか読んでませんっていう本はありません。

美鈴

えちよつと待ってちよつと待って、読んでませんって本はないの？

玲央

読んでませんって本はないです。

美鈴

じゃあ年末年始何読んだの？

玲央

読んでません。

美鈴

いやだから読んでませんって本はないんでしょ？

玲央

そうだよ。

美鈴

だから何読んだの？

玲央

読んでないって言うてるの！

美鈴

へー面白いタイトル。作者誰？

玲央

だーかーらー！

そのツイキヤスを聴いている小雪。

小雪

本なんて少女漫画くらいしか読まないけど、毎週火曜日の2人の楽しそうなやりとりをつい聞いてしまう。

美鈴 あんたさあ〜！1冊も読んでないってどういうこと？信じられない。
玲央 いやだって正月とか普通にみんなテレビ見るじゃん。天皇杯も選手
権もやってるしさあ。

美鈴 にしたって少しくらい時間つくって読みなよ！図書委員なんだから。
玲央 だから俺本業サツカー部って言ってんじゃん！

美鈴 ああそうですかじゃあどうぞ部活に行ってくださいお疲れ様でした。
玲央 なんてそうなるんだよ。

美鈴 サツカーしてたいんでしよ行けばいいじゃん。はいどうぞ。好きだけ
サツカーしてください。図書委員にも私にも時間使わなくていいから。
美鈴！

玲央 もういい！

玲央 ちよつと待って！

美鈴 待たない！

玲央 ツイキヤス流しっぱ！

美鈴 え？

2人 あ——————！！

ツイキヤスが切れる。

小雪 ……うらやましい。

11

小雪 拝啓。理央先輩。あけましておめでとございます。今年もよろしくお
願いたします。お元気ですか。いろいろあって、手紙を送ることにな
りました。落ち込むこともあるけれど、私は元気です。受験勉強頑張っ
てますか。毎日寒いので、風邪などひかないように気をつけてください。
よかつたらお返事ください。待ってます。

無線部の部室。手紙の内容を留美がチェックしている。

留美 ……あやしい。

小雪 は？何が！？

留美 こんな内容の無いような手紙、どう考えてもおかしいでしょ！

カメリア というかさあ留美ちゃん、人の手紙読むのは流石にやりすぎよお。

小雪 やっぱりおかしい……？

留美 縦読み……ではないか、もしかして

留美、ライターを取り出して便箋を炙ろうとする。

小雪 ちよつと何すんの！

留美 炙り文字とか仕込んでるんじゃないの！

小雪

そんなことするか！

留美

でも絶対どっかに秘密のメッセージ隠してるだろう！

カメラア

留美ちゃん疑いすぎ。もう少し信じてあげなさいよ。

留美

だって見てよ。この表面的な挨拶だけの手紙を！全く以って恋人の手

紙には思えない。

カメラア

人それぞれでしょそんなの。

留美

あんた本当に理央先輩と付き合ってるの？彼女なら普通もつと書きた
いことあるでしょ。

みずほが顔をのぞかせる。編みかけのマフラーを持っている。

みずほ

椿ちゃんいる？

カメラア

あらみずほ。どしたの。

真奈

みずほ？

みずほ

ねえどうしよーまたこんがらがっちゃったあ！

カメラア

えーどれどれ見せて。

真奈

留美先輩、あの方って竹石先輩？

留美

うんそだけど。

真奈

えかわいい！

みずほ

えっ？

真奈

あつすいません。竹石先輩可愛くないですか？

カメラア

めっちゃわかる。

みずほ

え何急にありがとう。

真奈

あの、竹石先輩。

みずほ

はい。

真奈

あの私、

みずほ

あ！もしかして真奈ちゃん？

真奈

え、あ、なんで知ってるんですか？

みずほ

水沼くんが言ってた。家が隣で、無線部にいるって。

真奈

ああもうどこまでしゃべってんだよ！

留美

え、水沼ってうちのクラスの？

カメラア

そうだよ知らなかったの？

真奈

え、じゃあどこまで聞いているんですか？

みずほ

どこまでって？

真奈

いやなんでもないです。

みずほ

お互いの部屋行き来してるとか？

真奈

ああもうほんとおしゃべり！竹石先輩違うんです。別に全然そんな

みずほ

じゃ無いっていうか、もう実とはほんとに兄弟みたいなものなんで。

みずほ

知ってるよ。

真奈

え？

みずほ

血は繋がってないけど妹だって。

真奈
みずほ
真奈ちゃん？どうしたの？

真奈
みずほ
竹石先輩は実のことどう思ってますか？
どうって？

真奈
みずほ
実のこと好きですか。

留美・小雪
カメラリア
真奈ちゃんブツ込むわねえ。

みずほ
……うん、好き。

留美・小雪
カメラリア
ええー！認めたー！

カメラリア
みずほもストレート。

小雪
えええええどうしようどうしよういきなり恋のゴングが鳴るなんて。

留美
待って待って真奈ちゃんは可愛い後輩だしみずほは一応クラスメイト
だしどっち応援していいかわかんない！

真奈
それなら……実のことよろしくお願いします。

留美・小雪
えええええー！！！！

留美
なんで！どうしてそんな簡単にあきらめていいの！

小雪
そうだよなんだかんだ言って幼馴染ってアドバンテージでかいよ？

真奈
でも、実は竹石先輩のことが好きですから。

留美・小雪
えええええー！！！！！！

小雪
展開早くついていけない！

留美
待って本当にあんたたち両想いってこと？教室じゃほとんどしゃべ
ったりしてないでしょ？

カメラリア
でもこの2人、ブルートゥースイヤホン片耳ずつで同じ曲聞いたり
してるわよ。

留美・小雪
ぐわああああああ！

みずほ
ちよつと椿ちゃんそれ内緒！

カメラリア
カメラリアって呼んでくれたらね。

留美
なんだよそれ……教室の端と端で離れているのに繋がっちゃってるの
かよ……。

小雪
甘いよ……甘すぎだよ……。

留美
てかなんだよ！もうそんなんだったら付き合っちゃえよ！

みずほ
違うのあのね本当はクリスマスにプレゼントしようと思ってこれ編み
はじめたの！

小雪
でもそれが何故ここに？

みずほ
間に合わなかった。

留美・小雪
おとおおとおおい！

真奈
クリスマス風邪ひいたってドタキャンされてめっちゃ凹んでましたよ。

留美・小雪
約束してたんか……いーい！

小雪
そこは完成してなくても行けよ！

留美
たった1度きりの「1」歳のクリスマスだったんだよ！？

小雪
ブーメラン！

留美 あああああたった1度きりの17歳のクリスマスだったのにー！

カメリア 自分で言っただメージ食らってどうするの。

みずほ だって、編んで渡すって決めてたから。

頑な！

真奈 まあお陰で代わりに私がデートしてあげたんでありがとうございます。

留美・小雪

真奈 せつねー！

いや全然。普通に楽しかったです。

カメリア てか実の方もプレゼント用意してたんじゃないの？それどうしたの。

留美 もしかして渡せず終い？

真奈 あ、私がもらいました。

留美・小雪 ぐあああああ！

カメリア この子の為に買ったもんももらったわけ？

真奈 まあでも、選んだの私なんで。

留美・小雪

は？

カメリア 竹石先輩へのプレゼント一緒に選んでくれて言われたんで一緒に選

びに行きました。で、普通に私が欲しいものを選びました。

カメリア あんたも神経図太いね。

真奈 正直いーつまで経っても好きって言えないヘータレですけど、あんな

んでよかったらほんとよろしくお願いします。もう竹石先輩の他に好

みずほ きになつてくれる人なんて現れないと思うので。

ありがとう。バレンタインまでに絶対完成させて言うからね。

真奈 はい。もうあつちは永遠に自分から好きって言えないので。ぐいぐい

つちやっってください。

みずほ わかった頑張る。ねえそうだ！真奈ちゃん一緒にバレンタインチョコ

つくろうよ！

真奈 え！いいんですか！わーぜひ！えー竹石先輩にいい人でよかったー！

みずほ いや真奈ちゃんもいい子でほんとよかったー！私のだから絶対にあ

げないとか言われたらどうしようかと思ったー！

真奈 いやいやいやそんなこと言わないですもう竹石先輩ほんと可愛いし

いやそんな言い過ぎだって！

真奈 いやそんなことないですから！

てか全然みずほでいいから、みずほって呼んで。

真奈 え、みずほ先輩？

ううん先輩もいらない。水沼くんのこと実って呼んでるんでしょ？

真奈 そうですけど。

じゃあ私もみずほでいい。

真奈 えーわかりましたがんばります。

わーいやったあ。

真奈 てか、あの、みずほ……は、実って呼ばないんですか？

えー！やー！それはちよっと！まだ恥ずかしい……。

真奈 えーなんですかそれー！

みずほ
カメラア

みずほ

真奈

みずほ

真奈

カメラア

みずほ

カメラア

みずほ

カメラア

真奈

みずほ

いいの！それは！ちゃんと付き合ってからで！

ほーら、そしたらとつとと完成させた方がいいんじゃないの？バレン
タインにも間に合わなくなるよ？

ダメ！はい！やります！

でもあれですね、バレンタインに渡しても、もうすぐ使わなくなっちゃ
いますね。

うう。

うーそーです！私がつつと使わせませす！夏でもマフラー巻かせませす！

まーとりあえず場所変えませしよ。

うん。

手芸屋寄ってからでいい？

うんもちろん。

じゃあお先。おつかれさまー。

お疲れ様です。

おじやましたました。真奈ちゃんまたね。

みずほとカメラア、出ていく。小雪と留美の思考回路はショートしている。

真奈

2人ともどうしたんですか？

真奈

おーい。聞こえてますかー。

小雪・留美

なんで？

真奈

なにがですか？

留美

ちよつと待って、好きなんだよね水沼のこと。

真奈

え、はい。好きです。

小雪

みずほも水沼のこと好きって言ったんだよ

真奈

はいさつき聞きました。

留美

ライバルなんだよ。もつとこうさあ、「美に近づかないで」的なバチバ
チツとしたさあ。

真奈

いやでも、私は「妹」なんで。

小雪

いいのかそれで！

真奈

でもでも、妹ですよ？すごくないですか？血がつながってないのに家
族なんですよ。だって恋人だったら別れたら離れちゃいますけど、家族

はたとえ離れてても離れないんですよ。
いやんなことないよ。家族だって離れたら離れるしてか一緒にいたっ
て離れてるわ。

小雪

留美

恋人だって別れなければ家族になるしね。

真奈

だとしても私が家族であることに変わりはないですから。

留美

んーいやそうだけどうりゃでも本当に、それでいいの……？

真奈

いいんです。私がそう思ったら丸くおさまるみんな幸せなんです。てゆ

「か違いますよ！そこじゃなくて！血がながってなくても家族になれるんですよ！ってことです！」

真奈、出ていく。

小雪　なんかすごいね、あの子。

留美　私も初めて知ったわ。

小雪　じゃ。手紙お願いします。

留美　はい。

小雪、出て行くこうとして、

留美　あのさ、

小雪　なに。

留美　家、なんかあったの。

小雪　なにが？

留美　離れたら離れるとか、一緒にいたって離れるとか。

小雪　ああ。うちお母さん出てったから。

留美　ああ。

小雪　お父さんともほとんど口聞かないし。ってか全然帰ってこないから会ってないんだけど。

留美　そうなんだ。

小雪　そっちは？

留美　そっちはって？

小雪　いやさつき出てく時、血がながってなくても家族になれるのかなんとか言ってたじゃん。

留美　ああいやそれは。うち最近お父さんが再婚してさ、

小雪　あー新しいお母さんが嫌ってこと？

留美　いや別にそういうわけじゃなくて。普通にお母さんて呼んでるし。

小雪　えーすご。じゃ別にいいじゃん。

留美　でさ、妹ができんの。

小雪　おーおとおおとおお、すごいね。17個差。

留美　やばいよね。

小雪　いやすごいね。いつ生まれんの？

留美　もう予定日過ぎてんだけどね。いつ来てもおかしくないんだけど。

小雪　そうなんだ。

小雪　え、で？

留美　あのさ、出てったお母さんのこと、どう思ってる？
小雪　どうって？

留美 いや、恨んでるかとか、会いたいとか？
小雪 ……んー。

小雪 まあそりゃ、どっちも思ったけどさ。でも今は、うーん、どっちだろ。
留美 あんまもう気にしないようにしてる。っていうのがホントかな。
そう。

小雪 まあお陰でね、毎晩のようにファミレスで飯食ってたら理央先輩に声
留美 かけられたから、お母さん出たってなかったらそうはなっただろうなと思う。
あーそー。

留美 いやそこでむくれんなよ！

小雪 いやムツとするもんはムツとするんだよ！仕方ないでしょそういうの
留美 全部含めて人を好きになるってことでしょわかんだろ！

小雪 全部含めて……？

留美 は？いやそうでしょ嫉妬するし悔しいし苦しいし寂しいしそういうの
全部恋してたら当たり前じゃん。

小雪 でもそんなの全然キラキラしてないじゃん。

留美 そりゃそうだろ楽しいことばかりなわけないだろいや私付き合っ
小雪 ことないから知らないけど！！っていうかあんたはあるでしょうがそ
留美 ううキラキラがああいいですね羨ましい通り越して妬ましい限りで
小雪 ざいます！

留美 ごめん。

留美 なにが。

小雪 あ、いや、その、

通信が入る。

六花 ハローハローハロー。聞こえますか聞こえますか。
留美 え！？嘘！

留美、反応してすぐ視聴体勢に入る。

六花 こちらは地球。ハルカカナタのスグチカク。君の、私の、本当の声、聞
小雪 こえますか、聞こえますか。
留美 なあに？これ。

留美 謎の通信。

小雪 謎の通信？

留美 話は後！

小雪 宇宙時間の旅人のみんな、突然ですが質問です。君たちはどこから来
て、どこへいくのでしょうか。
マジでなこれ。

留美
六花

しつ。

例えば君という存在は、今これを聞いている前は、自分の意思でどこかからそこに来た。そしてこれからまたどこかに行くでしょう。それと同じ。君という種も、どこからきて、またどこかに行くんだ。もし離れた人がいるなら、想像してごらん。この果てしない時間と、限りない空間の、どこかに君がいたことを。そこから君がこの地球のこの時代に落ちてきた時、勇気を出して飛び降りたことを。そしたらきつと思いつく。君はどこへでもいけるし、どこまでもいけるといふことを。

声が聞こえなくなる。留美は周波数を変えて受信を試みる。

小
留美

ねえなに今の。

初めてキャッチしたのは半年くらい前。どっから飛んでくるのかもわからないし、こつちから話しかけても返ってこないし、ていうか、こつちしか聞こえてないみたいで。

小
留美

なにそれ。

毎回周波数もバラバラで、キャッチしたと思ったらどっかにいつちやったり、録音しても残らないし。

小
留美

えーやば。

しかも今さ、初めて向こうから繋いできた。今までこんなこと一度もなかったのに。

小
留美

あんたに聞いて欲しかったんじゃないの？

小
留美

私に？

小
留美

そりゃそうでしょ。

留美

あんたのお母さん、今うちにいます。

小
留美

へえ。

小
留美

うちのお父さんの再婚相手が、あんたのお母さんってことね。

小
留美

はあ。

小
留美

だからつまり、半分はあんたの妹でもあるんだけど。

小
留美

ほお。

留美

言おうか言わないかずっと迷ってたんだけど、ごめん。

小
留美

ふう。

留美

あ、ゴキブリ！

小
留美

ひい！

陰っていく。

夜。玲央と美鈴がTwitterをみている。

玲央 夜は、青い鳥が囀る。

美鈴 この鳥が、どういう時によく囀るのか、私たちは知っている。

玲央 暇な時、寂しい時、

美鈴 不安な時、苦しい時、

玲央 お前は悪くないって言ってほしい時、

美鈴 間違っていないよって答えてもらいたい時。

2人 自分が楽になりたい時。

玲央 心細くて、鳥は囀る。

美鈴 繋がりがたくて、鳥は囀る。

玲央 まじでいつつも怒ってばっか。小さいことですぐ文句言うし気に入ら

ないことあったらすぐ不機嫌になるし。わかってねーっていうけどそ

っちだって俺のことわかってんの。俺は向こうに合わせてんのに。

美鈴 まじでほんとに何回言っても通じねー。通じなさすぎて我慢の限界。て

かむりして合わせてもらってるのがダメなのか、サッカー好きじゃなくて作家好きの方が合ってるんだろなやっぱり。

19

2人、ツイートボタンを押そうとして、

2人 でも、

玲央 委員としての約束事を守らなかったのは俺。

美鈴 感情に任せて言いすぎてしまったのは私。

玲央 本を読むこと。

美鈴 サッカー観戦をすること。

2人 大切な人の大切なものを、大切にできなかったのは、俺（私）。

玲央 こんな些細なことで、言い合って、傷ついて、

美鈴 相手にうんざりして、それ以上に自分自身に嫌気がさして。

玲央 回線を繋ぐのは簡単だけど、

美鈴 心を繋ぐのは、難しい。

2人 ぐるぐる、もやもや、ぐるぐる、もやもや。

玲央・美鈴 喧嘩した日の夜は、長え。

夜は更けていく。みずほと実がラインしている。

みずほ そういえば今日、真奈ちゃんに会ったよ。

実 え！？

実 なんて？

実 スタンプ。

みずほ 無線部に行きましたの。

実 なんて。

みずほ なんででしょう

実 え、なんで……？

実 幸田か、カメリア？

みずほ そう！椿ちゃん！

みずほ さすがだね〜！

実 なぜに……用があるなら教室で話せばいいのに。

実 いや普通に考えたら2人のどっちかでしょ

実 てかカメリアは無線部だけど無線部じゃねえし

既読。
間。

実 竹石もなんかつくるの……？

みずほ え〜！ひみつ〜！

みずほ てか真奈ちゃん、とってもいい子でかわいかった〜。

実 スタンプ！

実 スタンプ！

みずほ どんなりアクション……？

実 えっいや、え、なんか話したの……？

実 (え〜！ひみつ〜！に対して) いやてかこれ！！なに！！

みずほ 真奈ちゃん怒ってたよ笑 水沼くんおしゃべりだつて笑笑笑

実 なにを……なにをきいたの……

みずほ えへ〜！それもひみつ〜！！！

実 え……………！！！！！！

既読。
間。

実 竹石ずるい……。

実 ずるいってばよ……。

夜は更けていく。

小雪・留美 ぐるぐる、もやもや、ぐるぐる、もやもや。

六花 ハローハローハロー、聞こえますか聞こえますか。

小雪・留美 ぐるぐる、もやもや、ぐるぐる、もやもや。

六花

この世界で一番早いものって何でしょう。音？光？それはね、「想い」なんだ。例えば君が、土星の輪っかを思い浮かべるとしよう。ほら。もう届いた。恐竜が生きていた時代を思い浮かべて。ほら。もう届いた。想像力ひとつで、君たちは一瞬で時間も空間も超えることができる。だからどうか、想いを馳せることをやめないでほしい。想いを馳せるということは、見えないものをみようとすることだから。

翌日。放課後、無線部。小雪とカメラアがいる。

カメラア あんたたちって本当に名前からしてそうだけど、似たもの同士っていか、姉妹よね。

小雪 そのワードチョイスわざと？何もかも分かった上であえてなの？

カメラア だって事実でしょう。

小雪 そうかもしれないけどいきなりすぎるんだわ。そんなすんなり受け止められるもんじゃないでしょ。

真奈来る。

真奈 お疲れ様です。

カメラア おつかれー。

カメラア 留美ちゃんから聞いたー？

真奈 (左耳を向けて) なんか言いました？

カメラア 留美ちゃんから聞いた？

真奈 何をですか？

カメラア お母さん破水したから病院行くから部活休むって。

真奈 え、そうなんですわね！え、っと、え、じゃあ……。

小雪 いや私関係ないしってか病院知らないし。

カメラア 関係なくはないでしょ。

小雪 大体あつちは私が理央先輩と付き合うより前からわかってたんじゃなの？気持ちの整理つけんの時間かかりすぎだろ。

小指は真奈の右側からしゃべっている。

カメラア あんたって本当にさ、視野狭いわよね。

小雪 は？

カメラア それとも知らんぷりするのが上手って言った方がいいかしら。

小雪 どういうこと。

カメラア 知らない自分で考えたら？

真奈 カメラア先輩それは意地悪すぎですよ。大半の気づかないですから。

小雪 え、なに？

真奈 あ私こっちしか聞こえてないんですよ。だからこっちから喋られると全部ちゃんと聞き取れない時があつて。

小雪 うわそうだったんだ、ごめん。

真奈 全然全然。聞こえなかったら聞き返しますし。
小雪 そっか。

カメラリア 聞こうとしないと聞こえないのよ。

小雪 え？

カメラリア だし、伝える側もちゃんと伝えようとしないと伝わらない。わかる？

小雪 そりゃわかったよ。

カメラリア 真奈ちゃんだけじゃなくて。誰に対してもそうしなくちゃいけないんじゃないの？自分の主張ばっか叫ぶんじゃないの？、あんたはもつと、周りにも自分にも耳すましてみて方がいいんじゃないの？

玲央と美鈴が互いを探している。互いに見つけ、

玲央 美鈴！

美鈴 玲央！

2人、互いに駆け寄り、顔の前でパチンと掌を合わせる。

2人 ごめん！

顔を見合わせる。願いが何処かから来て、根つき、2人の形になっていく。

美鈴 部活終わったら一緒に帰ろ。

玲央 おう。

美鈴 じゃ、図書室で待ってる。

玲央 ういー。

美鈴、行ってしまう。実が来る。

実 喧嘩でもしてたの？

玲央 まあちよつとな。

実 あれで仲直りできるもんなの？

玲央 いや時と場合によるけどな。まあでも、大事なことはちゃんと直接言う

実 ようにはしてる。

玲央 おー。

実 お前はどうかんだよ早く付き合えて言ってるんだろ！

玲央 いや無理だってまだまだ

実 ほら噂をすれば来たじゃん！ほら！はい！告ってこい！

玲央 いやいやだからだからまだそんな心の準備があ！

みずほが通りかかる。が、編み物を持っているので隠れるように無視する。

実 あ、竹石、どこいく……
玲央 いやあめつちや露骨に避けられたねえ。なんかしたの？
実 。
玲央 おーい。大丈夫かー。先部活行くぞーってあれお前今日病院だっけ？
実 のおおとおおとおおとおおとおお！

走っていく実、呆れて追いかける玲央。陰っていく。
無線部。真奈が無線にかじりついていて。みずほ来る。

みずほ ああああああああああああ！
カメラア あらみずほ、なにになにどうしたの！
真奈 こんにちは。
みずほ あー真奈ちゃんやつほー。
カメラア じゃあ今日もお先失礼するわね。
真奈 お疲れ様です。
みずほ どうしよー！水沼くんに見つかっちゃったかもしれない！
カメラア 大丈夫よあの鈍感男が気付くわけないってばよ。

2人、出ていく。再び無線に耳を澄ます真奈。留美が来る。

真奈 あれ？留美先輩病院行ったんじやなかったんですか？
留美 ……やめた。
真奈 えーなんで。
留美 怖くなっちゃった。
真奈 えー。
留美 まあ、もうなるようにしかならないんだろうけどさ。
真奈 大丈夫です。少なくとも、ここは留美先輩の居場所です。
留美 ありがとうございます。

真奈 おしゃべりします？繋がります？
留美 ー今はおしゃべりかな。
真奈 何話しましょうか。
留美 こう言うときね。始め方だね。
真奈 あ、そしたらいいですか。
留美 なに？
真奈 すごい今さならんですけど、留美先輩って、どうして無線部なんか入ったんですか？
留美 なんか、って。
真奈 いや、青春を捧げるには地味じゃないですか。
留美 何言ってるの。毎日とっても楽しいじゃん。
真奈 理央先輩いましたからね。

留美
真奈

ぐしゅ。
それで。

留美

うちの親さ、いわゆる出来婚なんだけど。出逢って2週間だったんだって。

真奈

2週間？

留美

そう。出逢って2週間で、まあヤツっちゃって、それで私ができちゃったの。それで、じゃあ結婚しようってなって。

真奈

マジっすか。

留美

なんだけど、お父さんそっからすぐ南極に行っちゃって。南極観測隊。

真奈

タロージローとかの。

留美

はい。

真奈

1年間いるんだよね。それで往復するのに片道1〜2カ月かかるわけ。

だからお母さんからするとさ、出逢って2週間で子供できちゃって、そのろくに知らない男と結婚したらすごいなくなっちゃって。お腹で私はどんどん大きくなるのに、不安と心細さと寂しさでいっぱいだったんだよね。

真奈

はい。

留美

携帯とかメールとかそんな時代じゃなかったし、手紙も送れなくて、連絡取るのは、電報だったらしいんだけど。それだつて気軽に送れるわけ

じゃなくて窓口行つて手続きしてだし。てかね、50文字送るのに50025円くらいかかるんだって。

真奈

えー。

留美

だからさ、ホントは寂しいとか、不安とか心細いとか、話したいこと聞

いてもらいたいことなんてたーくさんあったはずなのに、「ゲンキデスカ ワタシモオナカノコモゲンキデス オシゴトガンバッテネ」くらいしか送れないわけ。

真奈

うおー。

留美

でさ、私が生まれた時にね、1回だけ、電話繋いだんだって。っていつ

てももう10秒くらいみたいな感じだから長電話もできないし。その時にね、お母さん、私を泣かせて、その声を聞かせたんだって。生まれたばかりの私の声がさ、南極にまで届いて、響き渡って。写真も送れないから、本当に、その声だけが、お父さんも父親として実感したっていうか。ね。そんな感じ。

真奈

めっちゃめっちゃすごいですね。

留美

うん、まあだからねえ、なんか、すごい便利な時代になっちゃったけど

さあ、つながるって、すごいことだなんて思うんだよね。

出逢って2週間で出来ちゃうとかもすごいですね。

普通さ、もしそうだったら随ろすと思わない？

留美

ですねえ。でももしたら留美先輩生まれてきてないってことですよね。

真奈

まあそうだからさあ、ホント不思議だなって。なんで生まれてきちゃっ

真奈 たんだらうねえ。
ホントなんか、生まれてくるってすごい奇跡みたいですね。

留美、LINEを見る。

留美 あ。

真奈 どうしました。

留美 陣痛、始まったって。

立花の声が、無線を通して語りかけてくる。

六花 それは、まだ何にも染まっていない真っ白な美しい世界の始まり。

2人、急いで無線に耳を傾ける。

六花 あなたは今、誰と過ごしていますか？美しいものを観た時とか、美味しいものを食べた時、幸せだなあって感じた時に、まず誰の事を思い浮かべますか。

雪がちらちらと舞い始める。

美鈴 あ。

玲央 お。

2人 雪だ。

留美 え、まって雪じゃん。

真奈 降ってきましたねー。

カメラア あら雪。

みずほ ほんただよ。

美鈴 寒いね。

玲央 寒いね。

「寒いねと話しかければ寒いねと答える人のいるあたたかさ（俵万智）」

六花 わかちあいたって思えばそれは愛で、

みずほはカメラアと分かれ、電話を取り出し、かける。

六花 どうしてここにいないんだらうって思えばそれは恋で。

実の家、電話が鳴る。出ると、大好きな人の声が耳に降る。

実 もしもし？

みずほ もしもし！

実 え、なに？どしたの？

みずほ 雪！

実 え！？

みずほ 雪降ってきたよ！

実 え？あ、雪？

実、カーテンを開け外を眺める。

実 ほんとだ。

みずほ うん。

小指が手紙を書いている。

小指 これを書いている今、雪が降っています。先輩も見てますか？この手紙が届く頃まで、まだ残っているでしょうか。それとももうほとんど溶けてなくなってしまうのでしょうか。

27

実 え、それで？

みずほ あ、いや、それだけ。

実 それだけ？

みずほ うん、ごめん、なんか。わー雪だーってなって思わず電話しちゃった。

小指

何を書こうか、どんなことを書こうかとか考えていると、全然書けなくなってしまう。この雪が降り積もっていくみたいに、先輩への想いも、どんどん降り積もって埋れてしまいそうです。

好きだあ……。

えっ。

あ、いや。なんでもない！

今なんて言ったの。

雪！

雪？

雪だあ。って。

本当に。

本当に。

そっか。

実

みずほ

実

みずほ

実

みずほ

実

みずほ

実

みずほ

実

うん。

小雪

参考書を見ている理央先輩、注文をとっている理央先輩。無線機にかじりついている理央先輩。家まで送ってくれる理央先輩。忙しいのに、理央先輩は私とたくさん一緒にいてくれて、幸せだったし、大丈夫って思ってた。けど、思い出せたのは、いつも先輩の横顔だけで、私は本当は、それでも不安で、不安になってしまいう自分が嫌になります。

みずほ

本当は？

実

なんだよ本当はって。

みずほ

ゆ？……す？

実

聞こえてんじゃない。

みずほ

もう1回言って。

実

なんでだよ！聞こえてたんだろ！

みずほ

もう1回言ってほしいから。

実

……1回しか言わないからよく聞けよ。

みずほ

1回しか言わないの？

実

あーもー！

みずほ

がんばって。

実

からかってるだろ。

みずほ

からかってないよ。

実

うーうーうー。

留美

結構積もりそうだね。

真奈

そうですね。

留美

明日の朝ヤバいだろうな。電車とか絶対遅れるよね。

真奈

ですね。……でも、たまにはこういう日がないとですね。

留美

何もかもが思い通りにいくわけじゃないね。

実、意を決して息を吸い、言いかけた刹那

みずほ

好きです。

実

ちよつとなんで先に言うんだよ！

みずほ

えー？だって、言えなさそうだったから。

実

いや今言おうとしたのに。

みずほ

本当に？じゃあ私の今のなし。

実

いやいやなしにならねーよ。

みずほ

好きですなんて言っていないよ。雪です。って言ったんだよ。

美鈴

雪が降った日の朝って、すごくしんとしてるじゃん。

玲央

ああわかる。

美鈴 あれって、雪が音を吸収するんだって。
玲央 そうなの？
美鈴 聞こえなくなるんだって。雪が音を吸い込んでくれるから。

留美 好きです理央先輩。
実 好きです！
みずほ え？なに？聞こえなかったももう一回！
実 なんでだよ聞こえてるだろ！
みずほ なに？雪です？
真奈 好きです実。
実 好きです！
みずほ スキー？
実 好きです！竹石みずほのことが大好きです！！！！

六花 昔、想いは届くものでした。
人は、もつと伝えたいもつと通じたいと、電波を見つけました。
電波は気持ちは伝えてくれるけれど、想いは届けてくれませんでした。

小雪 こんなこと言っちゃいけないってわかってるけど、やっぱり先輩に会えないのは寂しいです。寂しい。先輩に会いたい。先輩が好き。好き。本当に大好きです。

雪がひとつ。

六花 例えば。この掌の上に、一つだけ雪が落ちるとして。この世界の中で私たちが会おうっていうのは、多分きつと、それくらいの確率。

カメラア 私は思う。この雪の上に最初に足跡をつけていく人の偉大さを。

カメラア まだ誰も歩いたことのない道を進んでいくことが、どれほど大変で怖いことか。すべての道には、恐れずに最初の一步を踏み出した人がいて。後に続く人はその足跡を辿り、次第に歩く人が増えそれがやがて道になり、当たり前前に皆が歩けるようになる。

カメラア 私が今、こんなふうにしてられるのも、かつて誰も歩かなかった道に最初に足を踏み入れてくれた人がいたから。後に続いて踏み固めてくれた人がいるから。もし自分がそんな時代に生まれてきてたら、私は絶対に生きていられなかった。雪に足を取られて、そのままうずくまってしまっていたのだろうと思う。

美鈴 雪の声、って言うんだって。

玲央 雪の声？
美鈴 雪の降る音のこと。
玲央 雪の声。

玲央、耳を澄ませます。

玲央 音、しなくね。

美鈴 でもさ、雪の降る音はあるんだよ。しんしんとか、さらさらとか、ちらちらとか、どかどかとか。

玲央 あー。

美鈴 聞こえないのに、聞こえるような気がするよね。

玲央 もしかしたら、聞こえてたのかもしれないな。

美鈴 そうだね。

2人、雪の声に耳を澄ませます。静寂の中、小雪の電話が小さく震える。

小雪、おそろおそろ電話にでる。

小雪 もしもし？

六花 ハローハローハロー。聞こえますか聞こえますか。

留美、通信に耳を澄ませます。

六花

耳を傾けてくれてどうもありがとう。こちらはシキユウ、ハルカカナタのすぐチカク。私の言葉ももうすぐ終わり。心惜しいなんて思わないでほしい。何かが終わるっていうことは、何かが始まるってことなんだ。果てしなく広く限りなく狭い、たった一つの自分だけの楽園から飛び降りて、この世界に生まれ落ちよう。だからどうかお願いだ。君はこれからはずっと、耳を澄ませてよく聞いてほしい。私たちが言葉を持たずに生まれてくるのは、私たちはもつと耳を澄まして聞かなきゃいけないってことなんだ。私は今から、全ての言葉を失くす。今まで話した何もかもを忘れて、何も持たずにそっちに行く。大丈夫。何もこわくないよ。かつて君たちもそうだったように、私には愛があって、勇気があるから。

六花 うねりの中に飛び込んで、光の方へと向かっていく。

「ENDING」

アマチュア無線部の部室。留美がいる。小雪が入ってくる。

小雪
手紙書いた。送ってください。
留美
いいよもう。

留美、住所と電話番号の書いた紙を差し出す。

留美
はいこれ。
小雪
いいの？
留美
いらぬならいいけど。
小雪
ありがとう。
留美
いや、むしろごめん。
小雪
まあそれはそう。
留美
はい。あーあと、あなたの連絡先教えてよ。
小雪
えなんで。
留美
いや、お母……雪乃さんが連絡取りたいって。
小雪
別に普通にお母さんって呼べばいいじゃん。今はあなたのお母さんなんだから。
留美
はい。

留美
生まれたよ。妹。
小雪
そっか、おめでとう。
留美
いやそっちもだから。
小雪
いやつーかまじ追いつかないから！一昨日妹生まれますって言われて今日生まれましたって言われてはい？！
留美
いやごめん。
小雪
いや、まあ。妹って言ったって、半分血が繋がってるってただだよ。それ私もだし。しかもこんだけ歳離れて、妹って？って感じ。
小雪
たしかに。

小雪
名前決まってるの？
留美
リッカ。
小雪
リッカ？
留美
六の花って書いてリッカって言うんだって。
小雪
へえ、なんでまた六。
留美
雪のこと六花って言うんだってさ。
小雪
そうなんだ。
留美
雪の結晶ってほら、いろいろ種類あるけど、あれが六角形で、花みたい

小雪 だから。
なるほど。

留美 だからまあ、そう言うことよ。小雪。
でもさ、

何。

小美 この間カメラが教えてくれたんだけどさ。フィンランド語で雪のこ
と、ルミって言うらしいよ。

留美 それは、ただの偶然だし、だとしても、フィンランド語なんて、お母さ
んが知るわけないでしょ。

小雪 でも、きつと、そういうことなんじゃない。

留美 電話する？

小雪 誰に？

留美 お母さんに。

小雪 え、だって病院でしょ？

留美 あそっか。じゃあ写真撮って送ってあげよう。

留美、インカメラで写真を撮る。LINEで送信しながら、

留美 ちなみに、あんたと理央先輩のことは報告済みだから。

小雪 えちよつとマジで!?

留美 まあでもそっか。そもそも2人が付き合ってたらず全く接点な
かったわけだし。やっぱそういうことか。

小雪 いやまあもつと言うなら私の携帯が壊れたからかな。

留美 そういえばなににしたの？落としたの？水没？

小雪 違う違う。本当に何にもしてないんだって！原因不明！

留美 なにそれ。

小雪 まじでまじで。修理出しても結局原因不明だったんだから。

留美 それってつまりさ。

2人、顔を見合わせる。LINEが届く。

留美 あ、返事きた。

小雪 なんだって。

留美 あ、動画だ。みてみて。

動画を再生し、2人を見る。

愛おしい天使の声に耳をすませながら、姉になっていく。幕。